

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-05-03
事務事業名	感染症予防事業		
		根拠法令・要綱等	狂犬病予防法・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
事業開始年度	平成12年4月1日から(狂犬病予防事業)		
総合計画	大項目	基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	結核・じん肺
		問合せ先	担当課(室) 保健課 職・氏名 健康係長・白麗由美子 電話 64-1820(内線223)

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	犬の所有者、被災住民等
目的(何のために)	狂犬病及び感染症の発生を予防し、その蔓延を防止し、住民の健康保持に努める。
行政活動(どのような方法で)	犬の登録、狂犬病予防注射の実施及び注射済票の交付 災害時等における消毒等の防疫活動及び感染症予防の衛生教育
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	狂犬病予防注射の接種率の向上

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	犬の新規登録		件	176	180	208
	狂犬病予防注射済票の交付		件	1,541	1,420	1,528
	集合注射		ヶ所	90	72	64
	年度末犬登録頭数		件	2,216	2,180	2,170
	事業費	直接事業費		363	287	267
		人件費	千円	5,131	4,650	2,227
		事業費計		5,494	4,937	2,494
財源	国県支出金					
	受益者負担	千円	1,369	1,365	1,452	
	一般財源		4,125	3,572	1,042	
必要人員		人	0.81	0.65	0.36	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	犬の新規登録		説明			
	結果指標量	人	176	180	208	
	対前年比	%	-	102.3%	115.6%	
	活動コスト	円	5,494,000	4,937,000	2,494,000	
単位当たりコスト	円	31,216	27,428	11,990		
結果指標	狂犬病予防注射済票交付		説明			
	結果指標量	人	1,541	1,420	1,528	
	対前年比	%	-	92.1%	107.6%	
	活動コスト	円	5,494,000	4,937,000	2,494,000	
	単位当たりコスト	円	3,665	3,477	1,632	

事業の成果			
成果指標名	注射実施割合	式又は説明	(注射件数/登録件数) × 100
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	70	65	70
対前年比		92.86%	107.69%
到達目標値	75	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	妥当性評価<A-E> B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		狂犬病は、事業を継続的に行うことにより、昭和32年以降国内では発生していない。今後も継続していく必要があり、広報紙や犬の所有者への通知により、市民への周知を図っている。
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		また、県からの感染症速報等を広報・チラシ等で迅速に市民に伝え、注意喚起を図っている。
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		効率性評価<A-E> B
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		課題認識
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		狂犬病予防事業は、平成12年度に市へ事務移管があり、市民の利便性を考慮した事業実施が可能になった。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		また、社団法人岡山県獣医師会に手数料の収入事務を委託し、市民の利便性を図っている。
職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		有効性評価<A-E> B
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		課題認識
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		昨年より5%注射実施割合が向上している。今後も広報活動などにより市民への周知を図り、成果の向上に努めなければならない。
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	集合注射を効率的に実施するため実施時期・場所・時間を検討している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 208	結果指標量	1,528
成果指標量	70%		

総合評価		評価区分<A-E>	B
狂犬病予防事業に関しては、予防注射の接種率の向上に努め、市民の利便性を図るとともに、より効率的な事業実施を行なう必要がある。また、感染症予防に関する知識・情報を広報誌等により周知・啓発していく必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	集合注射の計画について、実施場所や実施時間を再検討する	毎年度	実施計画を見直すことにより、より効率的に実施できる。(事務改善)